

# バイパスでの事故が多発

…… 交差点では“一旦停止”を ……

待望の武雄バイパスは、9月7日に開通式を行いました。

これにより武雄市の発展に大きな役割を果たす反面、バイパス道路のもつ使命として相当のスピードをもつ自動車の開通も烈しさが想像されこれに伴う交通事故も10数件発生しています。

この10数件のうち、鹿島県道とバイパスの交差点でおきた事故が約半分で、一旦停止を行わず、そのままのスピードで通過し衝突した事故ばかりです。

鹿島県道とバイパスの交差点では、武雄から鹿島方面へいく場合と、鹿島方面から武雄へはいる場合は、必ず一旦停止

を行ないましょう。

下西山交差点では、ガードの下から嬉野方面へ行く場合と有田方面から佐賀方面へ行く場合は、左右を良く確認し、一旦停止を行ないましょう。

また、バイパスを横断する歩行者は、左右を良く確認し、事故をおこさないようおたがいに注意しましょう。

関係機関では事故防止対策として、武雄鹿島県道交差点と、下西山十字路の2ヶ所に信号機、県立武雄高校前に歩道橋設置を計画、近く着工する予定です。



昭和42年10月20日発行 No.131

全世帯配布 発行所 佐賀県武雄市役所 (2111) 佐賀県佐賀市印刷所 (2243・2016) 印刷所 佐賀県佐賀市印刷所 (2243・2016)

# 武雄バイパスが完成

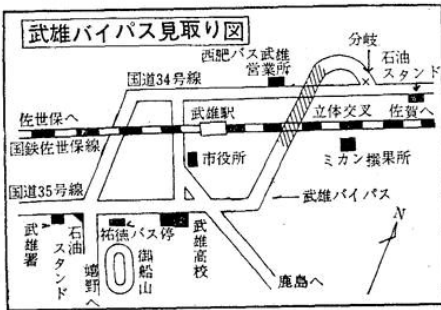
九月七日に 市の発展に大きな役割

武雄市内を通る国道三十四号線の交通ラッシュを解消するため建設省佐賀国道工事事務所が 建設中だった武雄バイパスが完成。同日は、バイパス東の起点のロータリー付近で関係者約三百



＜バイパス開通式で紅白のテープを切る高橋佐賀国道工事事務所長と本山武雄市長＞

10 月号



これにより市の中心部を貫く国道三十四号線の殺人的交通難が解消される反面、市南部発展の中心道路として大きな役割を果たすものと期待されています。

このうち武雄川から下西山ロータリーまで都市計画道路として三十二年度から市費約五千万円で作り三十八年から建設省へ移管、工事を進めてきました。ちようど三十二年度着工以来十年ぶりの完成。

同バイパスは朝日町廿久の武雄家畜市場東付近の国道三十四号線から分かれ佐世保線上を立体交差で越え武雄駅南側を通り武雄高校前を経て下西山の国道三十四号線三十五号線の分岐点で合流する全延長二千九百メートル幅十六メートル総工費三億七千三百万円。

五十人が集まり、高橋佐賀国道工事事務所長と本山市長がテープを切り、車を連ねて終点の三十五号線分岐点十字路までパレードし、市公会堂で祝賀会を開きました。

昭和42年度の9月定例市議会は、9月19日から30日まで12日間にわたって開かれました。今度の市議会に提出された議案は13件です。

昭和42年度武雄市一般会計補正予算は、土木費、農林業費、教育費等を重点として

# 1億2千2百76万8千円を追加

## 一般会計補正予算

### 9月定例市議会

は、競輪収益金からの繰入金八千七百五十八万六千円をあてるほか国庫支出金八百一十萬一千円、県支出金八百四十三萬一千円、前年度繰越金八百六十六萬四千円、分担金及び負担金その他一千六十八萬六千円などを当てています。

## 昭和42年度 武雄市一般会計補正予算の内訳

#### ⑥ 土木費

|        |           |
|--------|-----------|
| 補正前の予算 | 87,742千円  |
| 追加した額  | 40,771千円  |
| 計      | 128,513千円 |

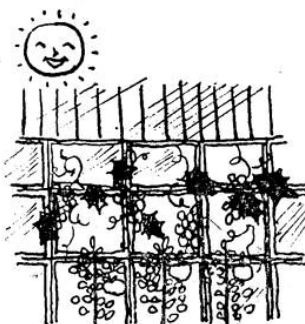
市道各線の維持補修費として三百九十万円、市道新設改良に二千八百万円、舗装道路新設改良に四百二十五万円、橋梁補修に百四十万円、河川維持費として二十一万円、朝日、甘久線舗装新設工事請負費三百一十一万円。



#### ④ 農林業費

|        |          |
|--------|----------|
| 補正前の予算 | 63,591千円 |
| 追加した額  | 11,881千円 |
| 計      | 75,472千円 |

七月豪雨により被害を受けた農家に対する災害融資利子補給金四十二万八千円、杵高地区農業改良委員会負担金二十二万円、水害による救済苗謝礼、輸送運搬費六十九万五千円、流失田の苗代設置に対する補助金六十九万八千円、果樹振興のための温度測定用具十五万円、和牛改良協会負担金十六万円、大型サイロ設置助成金、畜産共進会負担金四十六万一千円、池の内、百木の集団みかん園造成工事費、用地補償費一千四十二万三千円、川



#### ① 総務費

|        |           |
|--------|-----------|
| 補正前の予算 | 197,772千円 |
| 追加した額  | 42,580千円  |
| 計      | 240,352千円 |

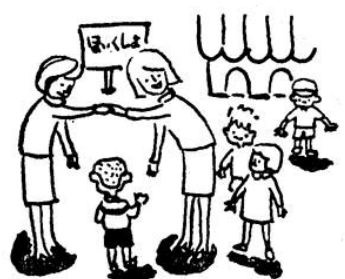
44年度完成を目的にした市史編さんの資料収集の旅費、調査委託料など二十八万二千円、永久選挙人名簿のカード化による経費として四十三万五千円、保養センター建設用地の買収、及び取付道路工事の費用として四百二十三万五千円、支所職員の補充のための臨時職員賃金、指定統計調査費を若干計上。



#### ② 民生費

|        |           |
|--------|-----------|
| 補正前の予算 | 114,032千円 |
| 追加した額  | 2,218千円   |
| 計      | 116,250千円 |

社会福祉協議会が解散、新しくその内容を充実するため、法人組織を結成、その助成金として二十一万七千円。身体障害者、精薄者に対する更生援護費二十五万八千円、保育所の保育単価改定による児童措置費として百五十六万七千円。その他老人健康診断のための委託料。



#### ⑦ 消防費

|        |          |
|--------|----------|
| 補正前の予算 | 35,287千円 |
| 追加した額  | 520千円    |
| 計      | 35,807千円 |

日本消防協会からの配車計画に基づき消防広報車購入分担金として四十六万円。



#### ⑧ 教育費

|        |           |
|--------|-----------|
| 補正前の予算 | 185,951千円 |
| 追加した額  | 8,097千円   |
| 計      | 194,048千円 |

小学校の要保護児童の扶養費の決定により四十七万九千円、教育振興費の決定により四十七万九千円、教育振興費の決定により四十七万九千円、川登統合中学校の水源施設工事費及び用地購入費三百八十三万八千円、同校舎設備備品購入費百五十万円、武内中学校音楽室の工事費十七万円、佐賀県PTA大会補助金十万円。



#### ⑤ 商工費

|        |          |
|--------|----------|
| 補正前の予算 | 42,154千円 |
| 追加した額  | 9,856千円  |
| 計      | 52,010千円 |

武雄警察署あと敷地を簡易な緑地化と駐車場をかねた小公園的なものに整備する費用四十二万八千円。観光シーズン、競輪の開催時を考慮して、市道四十九重線沿いに駐車場新設をはかる工事費として二百万円。梅林一帯を対象とした駐車場整備と、それに通ずる市道拡張のため、用地購入費として七百三十五万三千円、そのほか南部地区観光振興協議会負担金、工場事業場等設置奨励金



#### ③ 衛生費

|        |          |
|--------|----------|
| 補正前の予算 | 15,756千円 |
| 追加した額  | 2,249千円  |
| 計      | 18,005千円 |

日本脳炎のワクチン購入代百六十八万五千円、火葬場内の修理費十八万九千円、日本脳炎患者医療費負担金十七万円。



# 武雄小学校 屋内体育館建設に着手

## 完成は来年三月の見込み

市は、昭和12年に建設された武道場と、昭和26年に増築された一棟目西側校舎五教室解体跡に武雄小学校屋内体育館を建設する。10月26日午前十一時から起工式を行ない本格的工事にとりかかりました。

この体育館は、総工費二千三百七十五万円、国庫補助が六百三十三万四千円、起債一千二百六十万円、一般財源四百八十一万六千円。

建物の構造は、鉄骨づくり。屋根はアーチ型のカラー瓦葺き。

桁行(奥行)36.4メートル、梁間(間口)27.0メートル、天上の高さ7.0メートルの延坪

前で黄色い羽根で一般に事故防止を呼びかけました。

特に、交通安全思想の高揚、歩行者の正しい横断の仕方、児童生徒の通学通園時における事故防止及び踏切における事故防止、自動二輪車、原動機付自転車及び自転車の正しい乗り方。

一般家庭においては「車に気をつけてね。」交通安全だね」などの愛の声を交わし一家の交通事故に注意してください。

10月22日から10月31日までの10日間秋の全国交通安全運動が行なわれます。

当市では、地域住民に対する交通安全思想の周知徹底をはかるため市民総ぐるみ運動として市、警察、学校、婦人会、PTA、一体となって交通安全事故防止にのりだしました。

10月23日には駅前

# なくしたい“交通事故”

### 10月22日～31日 秋の全国交通安全運動



【武雄警察署による武雄中学の交通教室】

三百十五(九百八十二・八平方メートル)

コート二面、九人制コートのみは一面、バドミントンのコートをとる場合は三面、バスケットコートをとる場合は、コート三面がとれる近代的な体育館。

二階には、ガラスライ(通路)を設け、特に、床は弾力性に富み、固くてわれないかえでの木を使用するなど設計上いろいろ

昭和三十九年度

市職員採用試験

昭和四十三年度武雄市職員採用試験をつぎのとおり行ないます。

この試験は県人事委員会に委託して、県下市町村職員採用統一試験の方法で実施します。

一、試験の期日 十一月二十三日(休日) 午前九時三十分

二、場所 武雄高等学校北校舎

三、受験資格 イ市内に住所を有する者で、男子に限る。

ロ学歴を問わず、昭和十八年四月二日より、昭和二十四

## 読書の秋を

### 新しい図書館で

市は、このほど武雄町西浦町集会所横の元九電営業所を買収新しく市立図書館に改装。書籍類の整理も終わり十月二日から開館いたしました。いままでの市立図書館は、狭

ろ工夫してあります。内部には、ステージを設け、その下は器具を格納されるようになっています。

完成は43年3月末の予定。体育館の概略

一、位置 一棟目前の武道場あとに東西に長軸をとり、南北より自然採光の配慮をしています。

二、外観 ①カマボコ型 ②内部施設 前述の各コートの他に ③低鉄棒10欄

移動式高鉄棒 ④吊縄10本 ⑤助木8欄 ⑥防球ネット2張 ⑦盗見鏡1 ⑧ステージ(下部倉庫) ⑨控室 ⑩器具庫 ⑪ギャラリ ⑫便所

## 引揚者に 特別交付金

昭和32年に引揚者に対し引揚者給付金が支給され、ほとんどの人が受給されていますが、今度制定された特別交付金については、外地に生活の本拠をもっていた人が、敗戦のため本邦に引揚げ、在外財産のみでなく、生活に根ざすすべてのものを失った打撃に報いる意味で支給されるものです。

「援護」的な意味で支給された前の給付金とは、このように法の趣旨が違います。

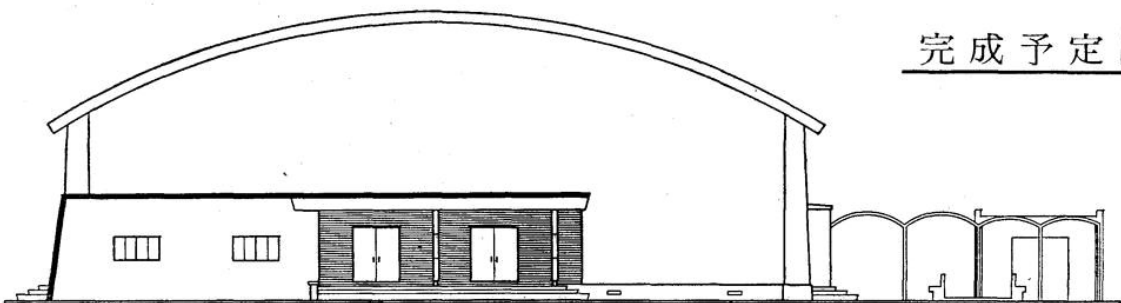
一、支給対象者は 外地に終戦日まで一年以上生活の本拠をもっていた①引揚者 ②引揚前、引揚後死亡した者の遺族、なお特例もありますので詳しくは福祉事務所までお問合わせください。

二、交付金額 最高50才以上16万円から20才未満2万円まで、年齢によって5段階に分けられ在外年数8年以上の場合は一万円が加算されます。

三、請求期間 45年3月31日まで。

四、受付場所 市役所福祉事務所。

完成予定図



募集要領はこうなっています!!

自衛隊 陸・海・空士 志願案内



国をささえる若い力!!

裸眼視力 0.6以上、又は裸眼視力 0.1以上で矯正視力0.8以上色盲、伝染性の慢性の病気、四肢関節に異常のないもの

給与 初年度の俸給は15,100円で、年3回の賞与も支給されます。

衣食住 いろいろな面で優遇され、衣食住はすべて無料です。制服、作業服、下着類などは無料で貸与、食事は無料で支給。

自衛官2等陸士、2等海士、および2等空士の採用試験期日並びに試験場は、つぎのとおりです。

- S 42.10.30 目達原駐とん部隊 (神埼郡三田川町)
11. 6 唐津保健所 (唐津市千代田町)
11.13 自衛隊佐賀地方連絡部 (佐賀市与賀町)
11.20 伊万里保健所 (伊万里市立花町)
11.27 目達原駐とん部隊 (神埼郡三田川町)

自衛隊合格者 (7月~8月)

- ①牟田広澄(航空)武高卒 武雄町武雄村 S24.8.24生
②浦川光昭(陸上)中卒 若木町古場山 S23.9.21生
③山口 茂(陸上)中卒 西川登町高瀬 S24.8.1生
④納富 力(陸上)武高定時中退 武雄町松原 S24.9.14生
⑤松岡康幸(陸上)武高定時中退 東川登町天竜産 S24.8.3生
⑥楠田三郎(陸上)武高定時中退 武雄町小楠 S24.7.21生



- 受験資格 入隊日現在で18才以上25才未満の日本国籍の男子。
●志願票の請求先 市役所総務課又は自衛隊地方連絡部(佐賀市与賀町)および自衛隊山内出張所(山内町三間坂)
●志願票の提出先 居住地の市区役所、町村役場又は自衛隊地方連絡部および自衛隊山内出張所(山内町三間坂)
●志願受付 いつでも受け付けます。ただし土曜日の午後及び日曜祝日は受け付けません。
●試験場所および期日 市区役所、町村役場で掲示板に公示します。各人には、志願票交付の際お知らせします。
●試験 試験科目は「筆記試験」「口述試験」「身体検査」で1日で終わります。筆記試験は、国語(作文を含む)、数学、社会、理科の4科目で中学卒業程度の学力について行ないます。口述試験は、個人面接で、主として志願の理由や家産の事情、将来の希望などについて質問があります。
●身体検査合格基準 身長155cm以上、胸囲(身長1/2)体重 身長に相応するもの(身長155cmの場合は胸囲77cm、体重47kg以上)
●視力

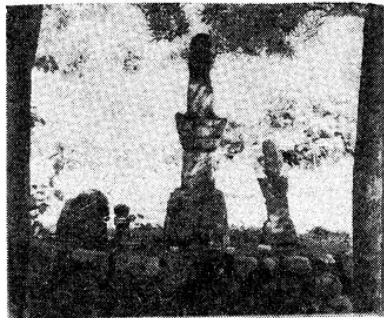


川古の戦いと秀岩塚

真名子磯夫

大永七年(一五二七)日鼓(ひづつみ)城が後藤純明から落城されて、浜江氏が没落すると、重臣馬渡甲斐守俊明は、一時節をまげて純明に降り、川古郷の領主になりました。そして数年後、旧主浜江公親が再挙を企てていることを知ると、公親方と意を通じた、時機のくるのを待っていました。

このとき行く手からも敵が現われました。俊明は腹背に敵をうくるからには、花ばなしく最後の戦いを交えて武勇た。残そうと決心し、部下を励まして大いに奪戦追手を悩ましませしめたが、曲つた細道を馳走中乗馬が後足を運掘にすべらし、馬諸共落ちてこんでしまいました。俊明は急いで馬を引きあげようとしますが、もがけばもがけほど深み



俊明戦死の場所、戸坂峠を上りつめた秀岩塚の西側に五輪の塔と石碑が建っています。俊明の法名秀岩俊明居士をとって、秀岩塚といっております。また俊明の居館跡の秀岩寺にも俊明の墓碑があります。 筆者は武雄市文化財調査員 住所 武雄町川良

- つぎの方々から武雄市社会福祉事業費としてご寄付をいただきましたので厚くお礼申し上げます。
〔市身体障害者福祉協会へ〕
△七千円也 朝日町川上、橋口昌兼さんから、亡父、昌嘉さんの香典がえしとして
〔朝日三寿保老人会へ〕
△参千円也 朝日町川上、橋口昌兼さんから亡父、昌嘉さんの香典がえしとして社会福祉事業へ
△五千円也、武雄町宮野町、藤井テツ子さんから、亡母、ツルさん。
△参千円也、武雄町八並、吉竹美彦さんから、亡母、井手ヨシノさん。
△五千円也、東川登町百木、木寺茂雄さんから、亡母、キサさん。
△五千円也、橋町鳴瀬、副島哲夫さんから、亡父、哲一さん。
△参千円也、朝日町杵島向陽園内、藤松たかさんから、亡父、佐六さん。
△参千円也、朝日町甘久、草場ヒロさんから、亡子息、正利さん。
△武千円也、武雄町下西山、宮原ケシさんから、亡長女、佐生子さん。
△五千円也、橋町上野、田代ひでさんから、亡夫、節一さん。
△五千円也、橋町南片白、山崎虎次さんから、亡父、庄右エ門さん。
△五千円也、橋町南片白、松尾種男さんから、亡母、マツさん。
△参万円也、武雄町内野、野中亨さんから、亡父、増一さん。
△武千円也、武雄町宮野町、古賀百合子さんから、亡夫、昭吾さん。
△参千円也、朝日町甘久、安武次郎さんから、亡父、元市さん
〔市社会福祉事業へ寄付〕
△八百円也、武雄町下西山、山領マツヨさんから。
△武百七拾式円也、武雄町下西山、田中均さんから。
〔香典がえしとして市社会福祉事業へ〕
△参万円也、武雄町永島、中林政一郎さんから、亡長男、晴喜さん。
△参万円也、武雄町松原町、梶原平四郎さんから、亡母、ツキさん。
△参万円也、東川登町大の原、堤外吉さんから、亡母、タノさん。
△参万円也、武雄町桜町、岸川忠次さんから、亡妻、スミ子さん。
△参千円也、橋町南片白、松本ツヤさんから、亡夫、富士馬さん。
△参万円也、若木町本部宿、百武敏子さんから、亡夫、茂十さん。
△参千円也、東川登町大山路、中尾政次さんから、亡父、虎一さん。
△五千円也、武雄町上西山、松尾弘さんから、亡長男、清馬さん。
△五千円也、武雄町永松、朝長峯雄さんから、亡祖母、カネさん。